

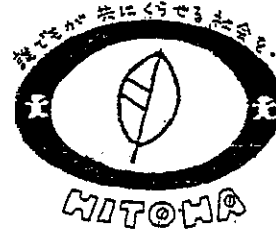
2015年(H27年)

5月

No. 275

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>
(メールアドレス) honbu@hitoha-fukushi.com



社会福祉法人 ひとは福社会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

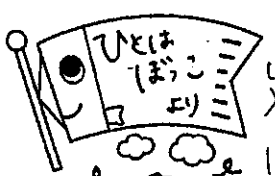
TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

木々の緑が目にもまぶしくなってきました。大きめのランドセルを背負った新1年生たちも、そして新年度を迎えた私たちも、普段の生活に少し落ち着きが見られ始めたのでほっとしています。

ひとは福社会では、平成27年度より安芸高田市吉田町で新たな放課後等デイサービス事業所を立ち上げました。事業所名称は「くらまぼん」と言いますが、小学6年生の国語の教科書「やまなし」に出てくるカニの兄弟が交わす言葉に由来をしています。「くらまぼん」という言葉そのものの意味は、作者の宮沢賢治ではないと明快に答えることはできないかもしれませんが、カニの兄弟は自分たちの目に映る様々なものに、「くらまぼん」という意味を用いて会話をしています。放課後等デイサービス事業所「くらまぼん」(仮)利用される子ども、家庭それぞれのニーズ、思いに合わせて「たくさんの友達ができる場」「いろんな生活経験を重ねられる場」「親同士の情報交換を重ねられる場」等々、それぞれの家族に応じて意味づけをさせていただけたらという願いを込めています。

ひとは福社会にとって、吉田町は同じ安芸高田市内とは言え、これまで活動を重ねてきた向原町、甲田町と地域が異なり、新たにひとはの取り組みの種を蒔いていく場です。くらまぼんが地域に根差して育っていくように、吉田地域の皆様に関心を寄せていただける発信をしていきたいと思っています。

*くらまぼんでは、今秋子どもたちと干し柿作りをしたいと思っています。「うちの渋柿をもぎに来てほしい」とお裾分けをいただけるようでしたら、ご一報ください。(放課後等デイサービス事業所 くらまぼん 施設長 佐竹正亮)



新学期が始まり、約1か月が経ちました。春を迎え、小学校に入学した男子2人、中学校に入学した男子1人、女子1人、高等部に入学した男子2人、女子2人...と新1年生がとて多い春になりました。

小学校の新1年生になった2人は初めての環境に戸惑い「お母さん、お迎えに来る？」と不安そうにしていたが、今では「ただいまかえりました！」と元気に大きな声で帰ってきて、上級生と一緒に遊んだり、活動をしたりに楽しんでいきます。上級生の子どもたちも、新1年生に早く慣れてもらうよう、優しく接する姿があります。「おにいちゃん、おねえちゃん」と呼ばれ、はにかみながらにこりと笑う姿がとて愛らしく感じます。

異年齢の子どもが集うこの場所で、いろいろな経験をしながらこの1年間を元気に過ごしてもらいたいです。

(勝兼 直美)

平成26年度 ひとは福社会後援会会計報告
(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部		支出の部	
会費 436名(法人含む)	1,835,550	ひとは福社会へ寄付	1,100,000
冊子収入	0	役員費(切手代、手数料)	536,490
利息	66	事業部工賃(いきがい)	35,000
前期繰越金	99,626	事業部工賃(ひとは系)	35,000
		事業部工賃(あつぷ)	35,000
		印刷代他	39,334
		小計	1,780,824
		当期繰越金	154,418
合計	1,935,242	合計	1,935,242

後援会の方に
支えられ、
ひとはつうしんも
30年を迎えます。
今年もひとはを
応援してくだ
さい。

寺尾川順子

植筆: 符内

楽しい手芸教室

4月から、木曜日の午後、いきいきステップの仲間と引き続き手芸を習うことになりました。

ある日の事、Oさんは仲良しのKさんにプレゼントするんだと、茶色のマフラーをせ、せと編んでいました。

私達の会話がはずみすぎると、一言「集中ピー」の注意が！あとは黙々と編み続けます。私達は、すみませんと言って黙ります。時には、Uさんの坊主頭をヨシヨシとなでて、Uさんとまわりを笑顔にします。

ヒョウの帽子を編んでいるYさんは、編みもきれいで感心します。今年ほど色々な作品が出来るかワクワクしています。(ひとは作業所たいふう 岩田富佐江)

ひとはの日々

とある小学校で、教師が児童に次の質問をしました。

「雪がとけたら何になる？」

ほとんどの児童が「氷になる」と答えたそうです。私も「氷」「川」になるのでは？という考えでした。しかし、一人だけ「春になる」と答えたそうです。間違いではないと思いますが、感性ですよね。

先月、向原では春を思いう桜の咲き始めに、雪が舞いました。私は「春になる」と答えてくれる人はいないかと、同じことを身近にいる多くの人に質問しました。

すると、私が求めていた答えを仲間のSさんが当然のように答えてくれました。

「雪がとけたら、春になるじやろ！」 私は思わずSさんに握手を求めてしまいました(笑)

素直で豊かな感性を持っているSさん。うらやましいです。(共同ホーム 越智玄雄)

行事予定

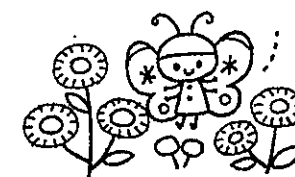
5月

- 23(土) アロマセラピー教室
- 27(水) トールパレット教室

♪新しい仲間がふえました♪ * ♪新スタッフ紹介♪

4月からあつこの食品製造に入社した川本朋果です。

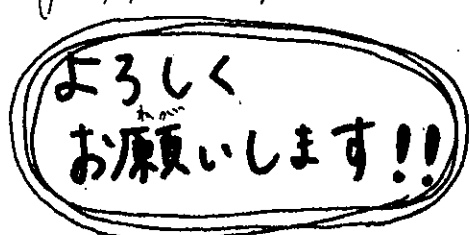
好きなことは、書道です。みんなと一緒に楽しく仕事をがんばっています。よろしくお願ひします。



ほくは大好きなものがたくさんあります。スポーツやアニメをみること、嵐やAKBも大好きです。お風呂も大好き。甘い物も大好きです。友だちも大好き！だからほくと仲良くしてくださいね。とびきりの笑顔で返します♡

ひとは作業所Cチーム 高原 奨

今年度よりホームで働かせてもらうことになりました。大下みのりです。4月まではささき亭で勤務させてもらっていました。最近、ラジオを聴くことがマイゲームです。お気に入りのは爆笑問題のラジオです。



「久しぶりです。なかなか来れなくてね。」となつかしように玄関に入ってくださったお客様。そのお客様が座られると、次々とお客様が来てくださり満席になってきました。実は、初めのお客様は、ささき亭の店名にお名前をかして頂いた、家主の佐々木さん一家です。昨日までお客様が少なくて、「どうしたんかね。」とぼやいていたところです。それが、佐々木さんの来てくださったら満員御礼。そんなことが、今回だけでなく毎回なので、食器を下げたり、お手伝いして頂いたこともあるくらいです。その話を他のお客様に話すと「お家も喜んでいらっしゃるからでしょうね。」と喜んでくださり、すぐ納得しました。佐々木さんは、「ひとはつうしんでささき亭のことがのっているから、深しみにしていらっしゃるんですよ。」と喜んでくださいます。

これからも、お家にもお客様にも、佐々木さんにも喜んで頂ける場になっていきたいです。



「ひとは」を応援してください

「ひとは」は、“誰でもが共に暮らせる社会”づくりの発信基地です。

知的な障がいのある人たち（「仲間」と称します）は、何気ない言葉にゆたらかな文化を育みます。

そんな文化を、「ひとは」からあなたにも、社会にも伝えたいと思います。是非、「ひとは」の応援団（後援会）に加わっていただき、仲間たちの文化の発信に力を貸してください。

ひとは福社会後援会

ひとは福社会後援会加入方法

年会費（個人：一口 2,000 円 法人：一口 10,000 円）を、直接ひとはの方に持参していただくか、振込用紙をご利用下さい。（振込票を領収書にかえさせていただきます。）

----- 切り取り線 -----

ひとは福社会後援会 入会申込書

No. _____

年 月 日

ひとは福社会の願いに賛同し、後援会に加入して「ひとは」と共に“誰でもが共に暮らせる社会”をめざします。

2015年（平成27年）度会費（ 口 円）を納め、入会を申し込みます。

氏名	
住所	〒
電話	